

## (2) 今月のキーワード 「スタートアップ企業」

官民を問わず、スタートアップ企業への支援が隆盛です。地域の特色を活かしつつ、支援体制を構築する自治体や金融機関が創業後間もない段階の企業へ出資・融資を試みるケースも増えてきました。埼玉県でも「スタートアップの創出・成長支援」をコンセプトの一つとするイノベーション創出拠点「渋沢 MIX」（シブサワミックス）を2025年夏に開設予定です。そこで今回は、スタートアップ企業に着目します。

### 【スタートアップ企業とは】

スタートアップ企業の明確な定義はありませんが、経済産業省によると、①新しい企業であって、②新しい技術やビジネスモデル（イノベーション）を有し、③急成長を目指す企業のことを指します。ベンチャーキャピタル※ANRI（アンリ）の代表パートナーの佐俣アンリ氏が著書で、「スタートアップ起業家の使命は、事業を圧倒的に成長させること」とするように、経営者は短期間で事業を急拡大することが求められます。

それだけに成長を遂げたスタートアップ企業が経済や社会に与える影響は大きく、短期間で巨大な経済圏を構築することや社会課題を解決することが期待できます。

※ベンチャーキャピタルとは、成長段階にある新興企業やベンチャー企業に対して出資する組織のこと

### 【成長ステージ】

スタートアップ企業は成長ステージに合わせ、シード・アーリー・ミドル・レイターと呼ばれます。シードの前段階をプレシードとすることもあります。資金調達ラウンドについても、成長ステージに応じて呼称があります。

### 【資金支援の課題】

資金支援面での課題は数多く、全てを挙げることはできませんが、課題の多くはスタートアップ企業のリスクの高さに起因します。最近では、やや上昇の兆しがみられる国内金利ですが、長らく低金利・低リスクでの融資環境に慣れた国内銀行等には、スタートアップ企業への資金支援はリスクが高く映ります。また、スタートアップ企業が扱う高度なテクノロジーに資金支援者の理解が追いつかないケースも多いと思われる。

### 【埼玉県からスタートアップ企業が生まれることを期待】

国内で多くのスタートアップ企業を生み出してきた渋谷では、1999年頃にスタートした渋谷シリコンバレー構想に端を発し、創業間もない企業を支援する土壌ができた歴史があります。この時期に渋谷から生まれた大手IT企業の経営者やオーナーが、次世代の若い起業家を支援するといった人的な繋がりがあることも魅力です。ひとつの企業単位では、短期間に急成長を求められるスタートアップ企業ですが、次から次へと企業が生まれるような土壌を作るのには意外と長い歳月がかかることが分かります。

創業間もない企業を支援する側の心構えとしては、景気の好不況や国策等の強弱に関係なく、継続的にスタートアップ分野を支援をしていくことが大切です。埼玉県からグローバルに活躍するスタートアップ企業が生まれることを期待したいと思います。

